

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年4月9日聖日第2礼拝

---

パーム・サンディメッセージ

「主がお入り用なのです」

ルカの福音書

19章28節～40節

梅田昇牧師

# 聖書朗読

## 新約聖書

### ルカの福音書

### 19章28節 ~ 40節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています

第二版の聖書は 142 ページ

第三版の聖書は 156 ページ

- 28 これらのことを話した後、イエスは、さらに進んで、エルサレムへと上って行かれた。
- 29 オリーブという山のふもとのベテパゲとベタニヤに近づかれたとき、イエスはふたりの弟子を使いに出して、
- 30 言われた。「向こうの村に行きなさい。そこに入ると、まだだれも乗ったことのない、ろばの子がつかないであるのに気がつくでしょう。それをほどいて連れて来なさい。

- 31 もし、『なぜ、ほどくのか』と尋ねる人があったら、こう言いなさい。『主がお入用なのです。』」
- 32 使いに出されたふたりが行って見ると、イエスが話されたとおりであった。
- 33 彼らがろばの子をほどいていると、その持ち主が、「なぜ、このろばの子をほどくのか」と彼らに言った。
- 34 弟子たちは、「主がお入用なのです」と言った。

35 そしてふたりは、それをイエスのもとに連れて来た。そして、そのろばの子の上に自分たちの上着を敷いて、イエスをお乗せした。

36 イエスが進んで行かれると、人々は道に自分たちの上着を敷いた。

37 イエスがすでにオリーブ山のふもとに近づかれたとき、弟子たちの群れはみな、自分たちの見たすべての力あるわざのことで、喜んで大声に神を賛美し始め、

38 こう言った。「祝福あれ。主の御名によって来られる王に。天には平和。栄光は、いと高き所に。」

39 するとパリサイ人のうちのある者たちが、群衆の中から、イエスに向かって、「先生。お弟子たちをしかってください」と言った。

40 イエスは答えて言われた。「わたしは、あなたがたに言います。もしこの人たちが黙れば、石が叫びます。」

# 説 教

パーム・サンディメツセージ  
「主がお入り用なのです」  
ルカの福音書  
19章28節～40節

梅田昇牧師

## 主テキスト

「もし、『なぜ、ほどくのか』と尋ねる人があったら、こう言いなさい。『主がお入用なのです。』」

(ルカの福音書 19:31)



# 受難週を迎えて

- ・ 今週は、受難週に入ります。主キリストが過ごされた最後の一週間の出来事を思い巡らしながら、意義深く過ごさせて頂きましょう。
- ・ 第一に、主キリストが凱旋的にエルサレムに入京されたことに心を留めましょう。
- ・ 第二に、主キリストのエルサレム入京に対して、人々の反応はどうだったのでしょうか。

# A . 神のみこころをご存知の上で、 エルサレムに入京された（28節）

- 贖いを成就するという使命を遂行
- イザヤ書53章の預言  
悲しみの人として苦しみを受け、十字架にかかるとのご存知の上で入京。

# B．主キリストはロバに乗って入京

(29-34節)

- ・ 弟子2人を町に派遣
- ・ 「なぜ、ほどくのか」と尋ねる人があったら、「主がお入用なのです」と答えなさい

## C . 入京は、旧約聖書に預言

- ・ 旧約聖書ゼカリヤ書 9 章 9 節  
第二版の聖書は 1427 ページ  
第三版の聖書は 1555 ページ

「シオンの娘よ。大いに喜べ。エルサレムの娘よ。喜び叫べ。見よ。あなたの王があなたのところに来られる。この方は正しい方で、救いを賜り、柔和でロバに乗られる。それも、雌ロバの子の子ロバに」

## D．人々の、入京の歓迎は？

- ・ 主キリストは、エルサレムで待ち受けている苦難、苦しみについてご存知でしたので、心に深い悲しみを覚えておられた
- ・ 主キリストの心を理解できない弟子たちは大きな声で喜んで神様を賛美（38節）
- ・ マタイやマルコは「ダビデの子にホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。ホサナ。いと高きところに」と記す  
（マタイ21:9、マルコ11:10）

## E . パリサイ人の反応 ( 39 ~ 40節 )

- ひややかな反応  
「先生、お弟子たちを叱ってください」  
と主キリストに注文をつけた
- パリサイ人は伝統的な教えや律法に縛られて、主キリストをメシアとして受け入れることができなかった
- 主キリストのエルサレム入京に脅威と恐れを感じた

# F . パリサイ人に対する主の応答

( 40 節 )

- ・ 「もし、この人たちが黙れば、石が叫びます」
- ・ 人間は、神様によってその像に創造され、生かしていただく神様に賛美をささげることは当然です。しかし、心の目が閉ざされているために、神様を賛美できない多くの方々がいます。神様を讃美できないどころか、神様を否定し、神様をのろうような人も存在する。

# G . 主がお入用なのです

- ・ 神様は、私達ひとり一人を愛しておられ、ひとり一人を必要としておられる
- ・ 主は、私達ひとり一人を祝し、栄光を現わそうとしておられます
- ・ 使徒パウロは、「私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであるであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです」

( 2 コリント 4 : 7 )



# 終わりに

「主がお入用なのですよ」とおっしゃった主キリストは、土の器である私たち一人一人を愛し、尊く用いたく願っておられます。

ろばを提供したろばの主人のように、私達も、「私をお使いください」と主に応答しようではありませんか。